

# 市販薬を常備している人が約 8 割

～「選択肢が多すぎて何を買ったらいいかわからない」という声も～

国内1,500社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：坂田政一）は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第244号として、薬の購入に関する意識調査(対象4,000人)の結果をご紹介します。未掲載のデータ提供や当社担当者が解説を差し上げることもできますので、お気軽にお問い合わせください。

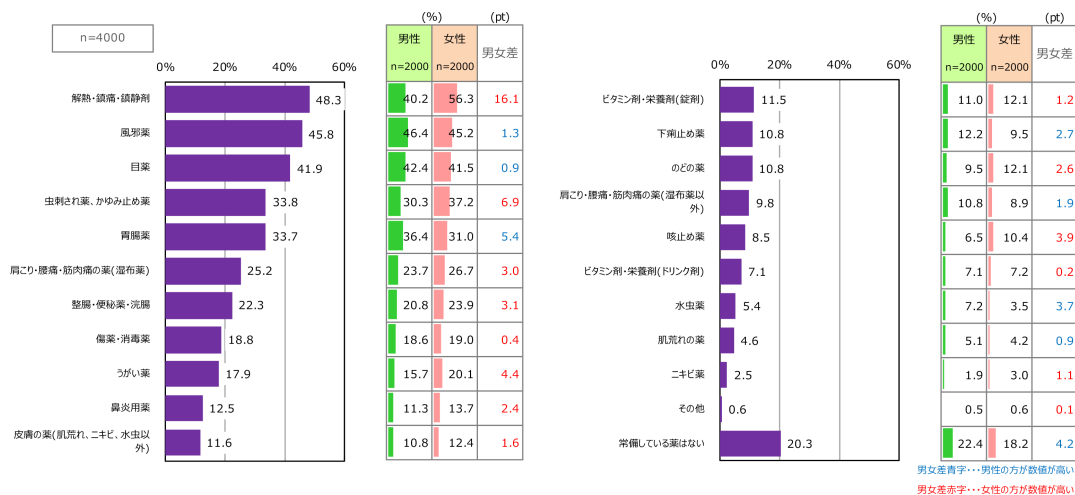
※回答率(%)は小数点第2位以下を四捨五入し同第1位までを表示しています。そのため、内訳の合計と表示値が異なる場合があります。

## ■ 市販薬、常備する人が増えたもの、減ったもの

今回は薬の購入に関する意識調査を実施しました。(今回は 2024 年に Vol.226 として実施。)

自宅に常備している市販薬を複数回答で聞くと(図表 1)、「解熱・鎮痛・鎮静剤」が 48.3%で最多。「風邪薬」(45.8%)、「目薬」(41.9%)、「胃腸薬」(33.7%)、「虫刺され薬・かゆみ止め薬」(33.8%)が続きます。一方「常備している薬はない」は 20.3%でした。

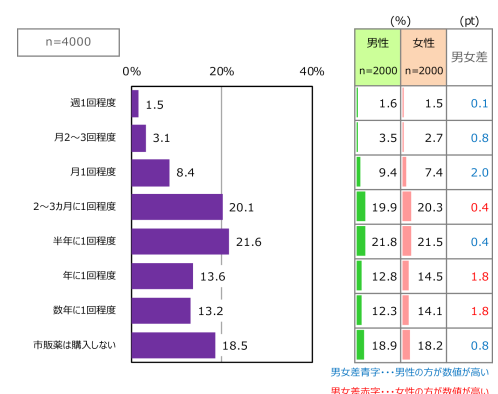
**図表 1 「あなたは自宅に以下の市販薬（病院やクリニックで処方される薬以外）を常備していますか。当てはまるものをすべてお答えください。（お答えはいくつでも）」への回答**



前回調査と比べると、「解熱・鎮痛・鎮静剤」が前回 43.8%から 4.5pt 増、「風邪薬」が 41.5%から 4.3pt 増と、一部について、常備する人の割合が増加しています。一方で、「虫刺され薬、かゆみ止め薬」は前回の 38.7%から 33.8%に減少、「整腸・便秘薬・浣腸」も前回の 25.6%から今回は 22.3%に減少しています。

なお、「常備している薬はない」と回答した人は年代別に見ると、20代が 29.0%、30代が 31.7%、40代が 26.1%、50代が 18.2%、60代が 17.2%、70代以上が 15.0%となっています。

**図表 2 「あなたは市販薬をどれくらいの頻度で購入しますか。最も当てはまるものをお答えください。（お答えは 1 つ）」への回答**



## ■ 市販薬の購入頻度は？

市販薬をどのくらいの頻度で購入するかを聞くと(図表 2)、「半年に 1 回程度」が 21.6%でトップ。「2～3 カ月に 1 回程度」(20.1%)、「年に 1 回程度」(13.6%)、「数年に 1 回程度」(13.2%)、「月 1 回程度」(8.4%)と続きます。「市販薬は購入しない」は 18.5%でした。

## ■ 市販薬の年間購入額に大きな変化はないが

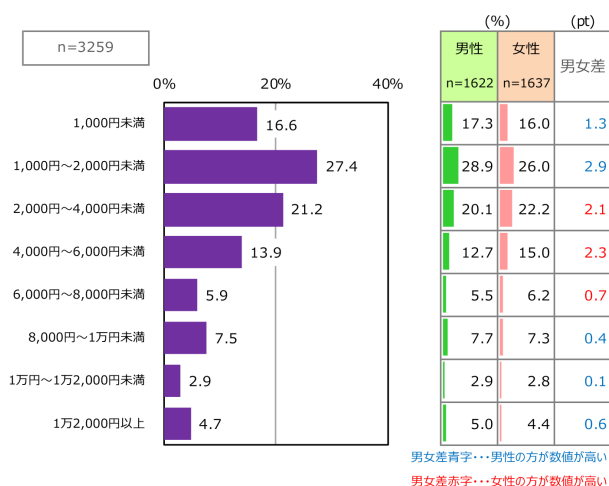
市販薬を購入することがある人を対象に年間の購入金額を聞くと（図表 3）、「1,000 円～2,000 円未満」が 27.4%で最も多く、「1,000 円未満」（16.6%）、「2,000 円～4,000 円未満」（21.2%）、「4,000 円～6,000 円未満」（13.9%）と続きます。「1 万円～1 万 2,000 円未満」（2.9%）と「1 万 2,000 円以上」（4.7%）を合わせると 7.6%が年間 1 万円以上を支出しています。全体の傾向は前回調査とほとんど変わりはありませんでした。

市販薬をどんな時に購入するかを複数回答で聞くと（図表 4）、「常備している薬のストックが切れたとき」が 45.0%で最多です。「風邪をひいた時、ひきそうな時」（40.4%）、「急に症状が出たとき」（28.3%）、「病院やクリニックに行くほどの症状ではないとき」（25.2%）と続きます。

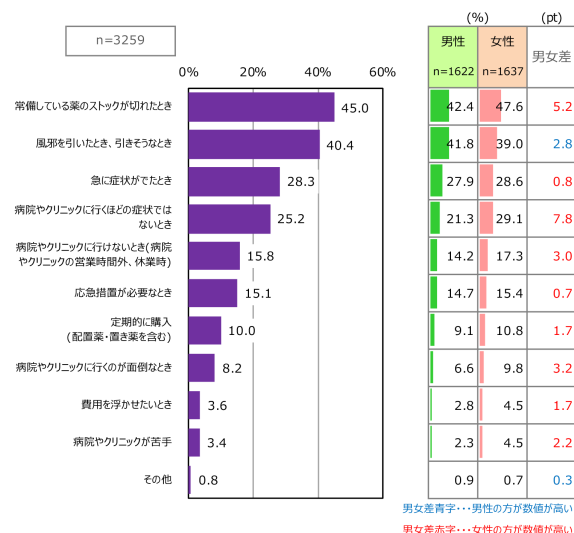
こちらの質問については、前回調査と比べると、「風邪をひいた時、ひきそうな時」が前回 29.1%から今回 40.4%になり、11.3pt と大きく増加しています。

ちなみに、風邪をひいた時に薬を飲むかも聞いています（図表不掲載）。「必ず服用する」が 25.0%、「症状が重いときのみ服用する」が 52.8%、「服用しない」が 22.2%でした。前回調査では「必ず服用する」が 24.6%、「症状が重いときのみ」が 54.8%、「服用しない」が 20.6%で、こちらはそこまで大きな変化はありません。

図表 3 「あなたは年間で市販薬をいくらくらい購入しますか。最も当てはまるものをお答えください。（お答えは1つ）」への回答



図表 4 「あなたはどんな時に市販薬を購入しますか。当てはまるものをすべてお答えください。（お答えはいくつでも）」への回答



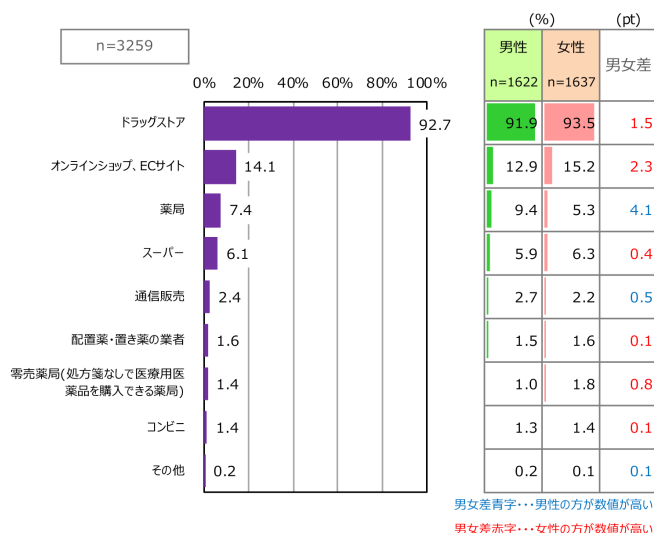
## ■ 購入場所はドラッグストアが一強

市販薬の購入場所を複数回答で聞くと（図表 5）、「ドラッグストア」が 92.7%と圧倒的でした。そのあとは、「オンラインショップ・EC サイト」（14.1%）、「薬局」（7.4%）、「スーパー」（6.1%）と続きます。

前回調査では「ドラッグストア」が 86.4%、「オンラインショップ・EC サイト・通信販売」が 12.4%でした。今回はドラッグストアが 6.3pt 増加しており、専門店への集約が進む一方、ネット購入も 1.7pt 増加しています。

特に若い層は「オンラインショップ・EC サイト」の割合がほかと比べて高く、「男性・20 代」「男性・30 代」「女性・20 代」は 20%を超えています。

図表 5 「あなたは市販薬を購入する際、どこで購入しますか。当てはまるものをすべてお答えください。（お答えはいくつでも）」への回答

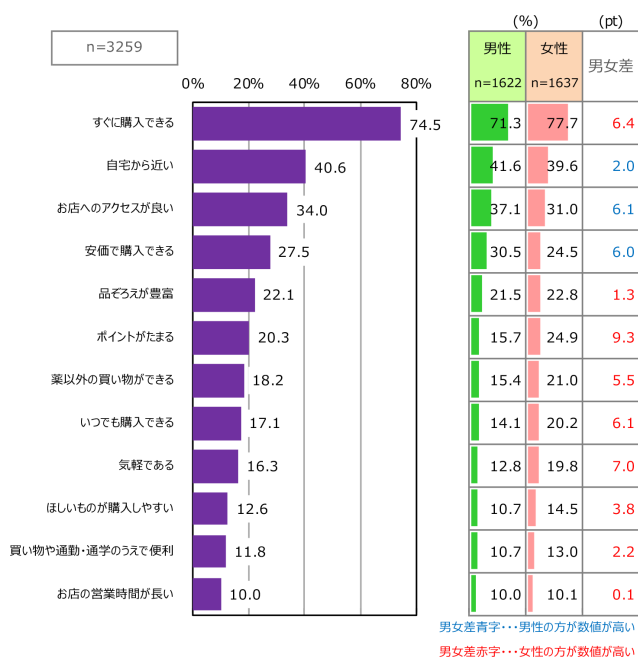


## ■ 市販薬の購入、買うときに考えるのは「以前から使っているもの」

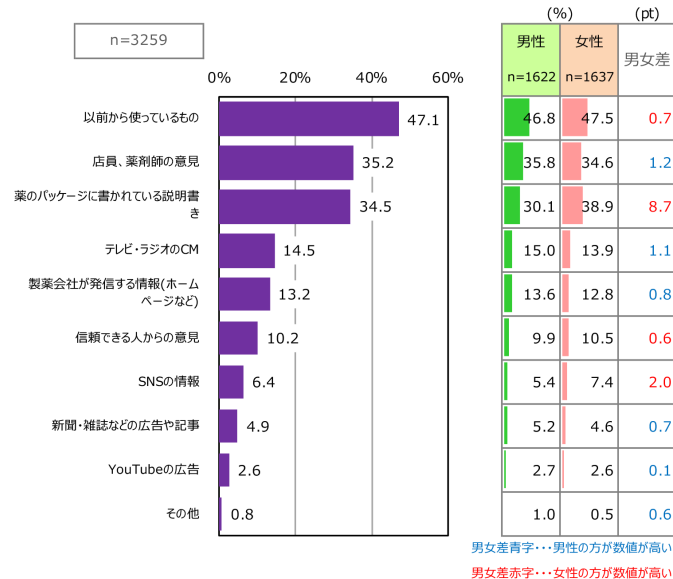
市販薬を購入するとき、その場所を選ぶ理由を聞くと(図表 6)、「すぐに購入できる」が 74.5%で最多、「自宅から近い」(40.6%)、「お店へのアクセスが良い」(34.0%)が続きます。前回調査と比較すると「すぐに購入できる」が 37.7%から大幅に増えています。

また、市販薬を購入する際に参考にするものについても変化が見られます(図表 7)。「以前から使っているもの」が 47.1%で、「店員、薬剤師の意見」(35.2%)、「薬のパッケージに書かれている説明書き」(34.5%)、「テレビ・ラジオのCM」(14.5%)と続きます。前回調査と比べると、「以前から使っているもの」が前回 34.2%から今回 10pt 以上高くなっており、お馴染みの製品へのリピート志向が顕著になっています。

図表 6 「あなたが前問で回答した場所で市販薬を購入する理由はなんですか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)」への回答



図表 7 「あなたが市販薬を購入する際に参考にするものはありますか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)」への回答

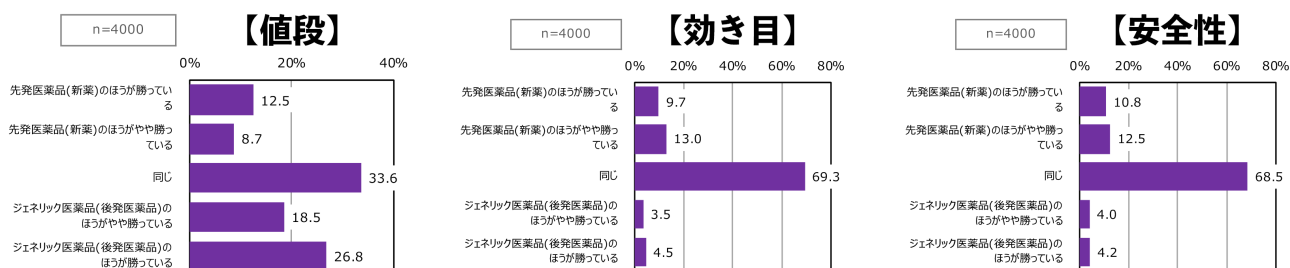


## ■ ジェネリックへのイメージは？

先発医薬品(新薬)とジェネリック医薬品(後発医薬品)のイメージを項目別に聞きました(図表 8)。「値段」については「ジェネリック医薬品のほうが勝っている」が 26.8%、「やや勝っている」が 18.5%で、合計 45.3%がジェネリックのほうが安いと認識しています。先発医薬品のほうが値段で勝るとした人は合計 21.2%でした。

「効き目」については「同じ」が 69.3%と最多で、「先発医薬品のほうが勝っている」「やや勝っている」が合計 22.7%、「ジェネリックのほうが勝っている」「やや勝っている」が合計 8.0%。「安全性」は「同じ」が 68.5%で、「先発のほうが勝っている」「やや勝っている」が合計 23.3%、「ジェネリックが勝っている」「やや勝っている」が合計 8.2%でした。

図表 8 「次にあげる項目について、先発医薬品(新薬)と、それを元にしたジェネリック医薬品(後発医薬品)に対するイメージを教えてください。(お答えはそれぞれ1つずつ)【値段】【効き目】【安全性】」への回答



## ■ 「薬はお守り」「薬は飲みたくない」 人によって態度はさまざま

薬との付き合い方や、薬や病気にまつわる考え方やエピソードを自由回答で聞きました。症状が出たときに薬を飲むのはもちろん、「症状が出ないときも常備していると安心できる」「本当に効いているかわからないが飲んでいる」という人がいる一方で、「極力飲まないようにしている」「体調管理こそが重要」という意見も。また、購入時に選択肢が多すぎて、何を買ったらいいかかわからないという声も多数寄せられました。

### 《薬との付き合い方、薬や病気にまつわる考えやエピソード》

#### 【薬はお守りがわり】

- 薬はお守り。風邪のひきははじめには早めに飲んでおけば安心するし、眠れない時に睡眠に効く漢方を飲むとそれだけで安心する。(女性・50代)
- 常備薬がないと不安になる。(女性・30代)
- 置き薬があると安心である。とくに頭痛持ちなので鎮痛剤はお守り代わりにしている。(女性・50代)
- 整腸剤を長年服用している。はっきり効果は感じられないが、気休めというかお守りのように思っている。(女性・40代)
- 薬が本当に効いているのかわからないが、お守り代わりに使っている。(男性・60代)
- 外国に行ったとき、突然ひどい頭痛に襲われた。薬局に行って、一番よく知っていて飲んだこともあったアスピリンを見つけたときの安心した気持ち！もちろん効いた。(女性・70代以上)
- 昔は少しの頭痛くらいならば我慢してしまっただけで、今は我慢している時間をもったいたないのですぐに頭痛薬を飲むようにしている。すぐに治っていつもの生活に戻れるので、大変重宝している。(男性・50代)

#### 【極力飲まずに済ませたい】

- 基本的に、あまり薬を飲みたくない。異物を体に入れたくない。特に風邪薬などは対症療法でしかないと思うので飲まない方が良いと思っている。(女性・40代)
- 薬について良い印象を持っていない。精神安定剤や睡眠薬などは、個々人の心身の健康のための努力を優先すべきであり、薬に頼るべきではない。(男性・20代)
- 薬は基本的に飲まないで済ませられれば一番いいが、年もとったので、そうも言っておられず、お世話になっている。(男性・60代)
- 普段出来るだけ薬を飲まないようにしているからか、飲んだ時は驚くほどよく効く。(女性・50代)

#### 【選択肢が多すぎて】

- ドラッグストアに並んでいる薬の種類が多すぎて、いつも迷います。(女性・20代)
- いろんな種類の薬があっただれを選べばいいかわからないから値段と企業のイメージで買ってしまおう。(女性・50代)
- パッケージに書いてある効能の情報量が多すぎて選択を混乱させるものが多い。(女性・50代)
- 自分が低用量ピルを飲んでいた時は、飲み合わせの観点で大丈夫か聞くためにも薬を買うときは薬剤師の方に相談していた。薬剤師の方は話を聞いて自分に合っていそうなものを選んでくれたので助かった。(女性・20代)
- 風邪をひいて、近くの医院に行ったら、かなりの待ち時間になると言われた。ドラッグストアで薬を購入した方が早いと思い、それぞれに効く薬を購入し(咳止め、熱・悪寒に効く)、総合感冒薬も購入し、寝る前に全ての薬を飲んで寝ました。朝、見事に風邪の症状は治まり出勤できましたが、ドラッグストアの薬剤師さんにそのことを話したら、成分が重複しているものもあるので危険ですと注意された。(女性・70代以上)

#### 【置き薬が安心できる】

- 昔からお世話になっている配置薬の薬を飲むことが多い。それでもダメな時には病院に行く。(女性・60代)
- 薬選びは自分では判断しにくい。置き薬の業者の方が持ってきてくれるのは「おすすめ」なので安心できる。(女性・60代)

## 《 「薬の購入」に関する意識調査 質問一覧 》

- 【クロス集計用】あなたは定期的に病院やクリニックに通院していますか。(お答えは1つ)
- 【クロス集計用】あなたは現在、薬(内服薬のみ、目薬や湿布薬は除く)を服用していますか。(お答えはいくつでも)
- 【クロス集計用】あなたは風邪をひいたとき、薬(風邪薬、総合感冒薬)を服用しますか。最も当てはまるものをお答えください。(お答えは1つ)
- 【クロス集計用】あなたはセルフメディケーション税制をご存じですか。最も当てはまるものをお答えください。(お答えは1つ)
  
- Q1.あなたは自宅に以下の市販薬(病院やクリニックで処方される薬以外)を常備していますか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q2.あなたは市販薬をどれくらいの頻度で購入しますか。最も当てはまるものをお答えください。(お答えは1つ)
- Q3.あなたは年間で市販薬をいくらくらい購入しますか。最も当てはまるものをお答えください。(お答えは1つ)
- Q4.あなたはどんな時に市販薬を購入しますか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q5.あなたは市販薬を購入する際、どこで購入しますか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q6.あなたが前問で回答した場所で市販薬を購入する理由はなんですか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q7.あなたが市販薬を購入する際に参考にすることはありますか。当てはまるものをすべてお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q8.次にあげる項目について、先発医薬品(新薬)と、それを元にしたジェネリック医薬品(後発医薬品)に対するイメージを教えてください。(お答えはそれぞれ1つずつ)【値段】【効き目】【安全性】
- Q9.(自分で市販薬を買う場合も、病院などで薬を出してもらう場合も)先発医薬品(新薬)と、それを元にしたジェネリック医薬品(後発医薬品)が選べる場合、あなたはどのように判断しますか。最も近いものを教えてください。(お答えは1つ)
- Q10.薬との付き合い方、薬や病気にまつわるあなたの考えやエピソード、薬について考えることなどを教えてください。(自由回答)

調査機関：株式会社プラネットによる調査企画をもとに、株式会社ネオマーケティングにて「薬の購入」に関する意識調査を実施。

期間：2026年3月27日～30日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

**株式会社プラネットとは** <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

**From プラネットとは** [https://www.planet-van.co.jp/news/from\\_planet.html](https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html) (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

### 本件に関するお問い合わせ先

今リリースに掲載していない結果や属性データのご紹介や、当社担当者が解説を差し上げることもできます。

株式会社プラネット 経営管理ユニット

E-mail : [koho-pr@planet-van.co.jp](mailto:koho-pr@planet-van.co.jp)